

縄文にドキッ！

食とくらしと縄文人

遺跡から発見されるモノは、土器や石器ばかりではありません。発掘調査では、当時の食べ物も見つかっています。今回の企画展では、縄文時代の食に焦点を当てた展示を行います。縄文人は何をどのように調理していたのか。食を通して縄文時代の暮らしのそびえをのぞいてみませんか。

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547

展示内容

①縄文時代とは？

約1万年以上も続き、土器や弓矢が発明された縄文時代。南九州の縄文文化を紹介します。

【資料】平松遺跡（高崎町）出土土器など

②縄文人の住まい

竪穴建物と呼ばれる半地下式の家で暮らしていた縄文人。建物跡から、当時の家の造りや生活の様子を紹介します。

【資料】十三束遺跡（上水流町）出土土器など

③縄文人の調理法

土器の発明により「煮る」という新たな調理法が可能になりました。調理場跡などから、当時の調理法を紹介します。

【資料】岩立遺跡（五十町）出土土器など

④縄文人が食べたもの

山菜や海産物、木の実、動物など季節に合わせて旬の食材を食べていた縄文人。実際に調査で見つかった食べ物を紹介します。

【資料】王子山遺跡（山之口町）出土炭化ドングリなど

⑤狩猟・漁労・採集・栽培

狩りの道具として使用された弓矢や槍。発掘された道具から、どのようにして食べ物を手に入れていたのかを紹介します。

【資料】白山原遺跡（郡元町）出土石槍など

⑥稲作のはじまり

縄文時代の終わり頃に伝わってきた稲作文化。都城盆地の稲作文化の始まりを紹介します。



炭化したドングリ（王子山遺跡出土）



縄文土器
（十三束遺跡出土）

縄文土器
（相原第1遺跡出土）

【資料】黒土遺跡（大岩田町）出土土器など

⑦1万1千年前の縄文ムラ発見！

昨年度まで発掘調査を行っていた相原第1遺跡（山之口町）の調査成果を速報で紹介。初公開資料です。

【資料】出土土器、炭化ドングリなど

会期

5月20日（金）～9月4日（日）

※月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）は休館

●開館時間 9時30分～17時

※入館は16時30分まで

●入館料

大人220円（160円）

高校生160円（110円）

小・中学生110円（50円）

※（ ）は20人以上の団体料金



縄文時代のムラの様子（画：早川和子氏）